

事業所名

HOME

支援プログラム

作成日

2026 年

5 月

15 日

法人(事業所)理念		「できた！」から自己肯定感・自己認識、そして将来の自立に向けて「生き抜く力」を育む							
支援方針		「できた！」という成功体験は、大きな自信となり、次のチャレンジへとつながっていきます。 その「できた！」を一つひとつ積み重ねられるよう、私たちは努力を惜まず、すべての子どもたちが未来に希望を持ち、社会を生き抜く力を育める、そんな機会と環境を提供していきます。 これらの領域の支援内容は、お互いに関連し重なる部分もある。また「本人支援」の大きな目標は、将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるように、家庭や地域社会での生活に活かされるため総合的な成長を支援していきます。							
営業時間		10 時	00 分	19 時	00 分	送迎実施の有無	あり		
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	QOLや生活基礎力を学び、楽しさの中でもっとやりたい、もっとしりたい気持ちを高めて探求学習を行っていきます。 また、事業所に通っていない時の何気ない日常も大切な為、本人さんご家族さん一緒になって、日常についても一緒に会話をし行い伴奏していきます。 生活・自律(立)支援プログラム							
	運動・感覚	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。 毎日ではありませんが、普段の活動日やイベント日の活動に運動を取り入れます。 レクリエーション・未知との遭遇・防災訓練と防犯の学び							
	認知・行動	感じたことや考えたことを表現することで、豊かな感性や表現する力を養い、創造力を豊かにする。 また、表現が難しい子は一緒になって、笑ったり、泣いたり、様々な気持ちを分かち合ったり、楽しんだりしていきます。 個別療育・IT個別・学習支援・就労練習							
	言語 コミュニケーション	上記認知・行動と密接に関係しながらも、他の人々と親しみ、支えあって生活するために、共感性や自立心を育て人と関わる力を養う。 また、先天的に不自由な子どもたちへ、代替の手段をご家族さんと一緒にトライアンドエラーで模索していきます。							
	人間関係 社会性	周囲のさまざまな環境に好奇心や探求心をもって関わり、それを生活にとり入れていこうとする力を養う。 集団・小集団・小集団参加を目標にした個別 学校連携・地域活動							
家族支援		保護者や家族の心身の負担軽減、子育てに関する相談・助言、ペアレント・トレーニングなどを通じて、家族全体の生活を支援する また、いつでも気軽に相談いただける環境や雰囲気調整を行います。			移行支援		ICT・生活・社会・ビジネススキルと卒業後の進路就労等)に向けて必要な課題に取り組みます。 QOL・生活リズム・自己研鑽 ・探求活動サイクルを元に積極的に自身でPDCAサイクルを行って定着していきます →5W1Hの実践・将来に向け、必要となる心構えを学びます負ける力(そこから這い上がる過程)・実行機能能力・他者を慮る・行動責任の考察・自己研鑽・自分軸から他人軸へ ・また就労に向け意識づけを行います「身辺自立・単独移動・作業・意見交換・集団参加・自己統制」も意識づけを行います		
地域支援・地域連携		市・警察・消防・学校・相談支援・医療・その他福祉機関に子どもが地域社会で安心して生活できるよう連携し、包括的な支援体制を築く活動を行います。			職員の質の向上		内部研修・外部研修を行う 福祉系資格取得のサポート 日々スタッフ間の意見交換		
主な行事等		日常生活の動作習得や集団行動の適応を目指した活動 季節のイベント(クリスマス、ハロウィン、夏祭り、節分など)や、社会性を育むお買い物・公園遊び、創作活動、避難訓練、外出イベント 保護者会の開催・他事業所や福祉関係機関との合同イベント							